

平成20年度 社会福祉法人 多摩同胞会事業報告要約総括

	法 人 事 務 局	高 齢 者 施 設					母 子 施 設		
		泉 苑	あさひ苑	緑 苑	かんだ連雀	岩本町ほほえみプラザ	きずな	しらとり	たっち
平成20年度 事業計画 重点ポイント	1 組織づくり 2 人材の育成 3 財政健全化 4 地域で求められている施設づくり 5 事務局機能の追及と施設サービスとの連携	1 法令遵守と法人理念の実現 2 生活環境および居場所、過ごし方の検討 3 新しい送迎・入浴・訪問食事体制の検証 4 重度化・高齢化に伴う施設のあり方および新調理システム導入にむけた人材確保と定着にむけた教育 7 安全対策等リスク管理の徹底 8 老朽化した泉苑の改築	1 組織づくり 2 人材育成 3 サービス向上 4 安心安全がキーワード 5 運営基準を遵守した運営	1 新型養護の自立支援と介護対応 2 小規模特養のゆとりある暮らしの実現 3 職員の確保・育成・定着 4 防災・防犯の強化 5 在宅支援センター機能の発揮 6 地域ボランティアの育成と相互協力	1 サービスの質の向上 2 職員採用・育成・定着の努力 3 職員研修 4 マナー向上 5 事務	1 部署間の協力・連携 2 人材確保・育成 3 指定管理者申請準備 4 神田地域の家族支援 5 安心・安全対策の強化 6 ほほえみサポート隊 7 地域包括支援センターの活用	1 安全・安心の生活の場 2 母子生活支援施設民間移譲対応 3 施設整備に伴う新しい役割検討 4 施設機能を充実する。 5 充足率のアップに向けた検討 6 自立支援計画を基にした支援 7 ヒヤリハットの活用 8 職員の育成	1 安全・安心の生活の場 2 たっちとの共働 3 職員の健康管理の徹底 4 職員の連携強化 5 職員のスキルアップ 6 「あるべき施設」検討 7 個別支援計画に沿った利用者への自立支援	1 利用者が、楽しく かつ安全・安心に利用できる場の提供 2 市内子育て中間拠点の役割 3 子ども家庭支援センター 4 職員のスキルアップ
平成20年度 事業執行状況	1. 法人 ①組織強化の取り組み ②新規事業展開 ③介護報酬改正準備 2. 管理 ①理事会開催 ②諸規程整備 ③指定管理者制度対応 ④監事監査実施 3. 財務 ①資金集約軌道 ②経理業務の適正化 ③コスト削減促進 4. 庶務 ①人材確保の取り組み ・異動 21人 ・入職 38人 ・退職 35人(10%) ・休職 産休7人・育休8人 ・採用試験 6回 ・昇格 43人 5. システム ①ホームページリニューアル ②クライアントPC入れ替え ③サーバーバックアップ体制 ④共有ファイル整理 ⑤サーバー集約・効率的運用 6. スーパーバイザー ①マニュアルⅡ作成、家族支援システム使用開始 ②法人組織強化取り組みスタート 社会福祉事業実践のための課題整理 7. サービス共通部門 ①マネジメント研修 ②サービス評価実施 ③各施設運営会議へ参加	1. 運営・管理 ①事務局集約による事務軽減 ②PC入れ替え実施 ③経費削減 ④検品、検収体制整備 2. 在宅介護支援センター ①相談件数4798件 ②第5地区把握率95.7% ③在支PR ④予防教室目標達成 3. 居宅介護支援センター ①積極的な受け入れ ②プラン同意徹底 ③勉強会参加・情報共有 4. デイ ①稼働率71.6% ②個別ニーズ対応に課題 ③常勤作業療法士配置 5. 通所外 ①機械浴1槽で運営 ②送迎体制見直し ③地域で167名登録 6. ホーム ①稼働率95.7% ②プラン内容に課題 ③生活の中の機能訓練実施 ④非常勤職員育成は課題 7. ショート ①空き情報発信 ②緊急ケース受け入れ ③アクティビティの充実 8. 看護 ①協力医療院との連携 ②ノロ対応に課題 9. 訓練 ①訓練計画書の作成 ②定期的な訓練困難(ホーム) 10. 食事 ①ソフト食の取り組み ②嗜好・残菜調査 ③新調理勉強会	1. 運営・管理 ①事務局による資金集約 ②請求業務効率化 ③1階改修工事完了 ④実習生延べ312人 ⑤ボランティア延べ1988人 2. 在宅介護支援センター ①相談件数3297件 ②認定調査716件 ③地区ケア会議18回 ④予防健診432人 3. 居宅介護支援センター ①ケアプラン総数2861 ②予防プラン444 4. デイ ①稼働率80.6% ②個別ニーズ提供時間延長 ③地域デイ延べ3951人 ④推進事業リスク抽出困難 5. 訪問介護 ①利用者減少 ②予防介護増加 6. ホーム ①稼働率93.5% ②状態変化によるプラン変更 ③定期的なユニット会議 ④福祉機器利用一覧作成 7. ショート ①稼働率116% ②医療的高リスク者増 8. 看護 ①入退院増 ②感染予防研修実施 9. 訓練 ①生活に即した訓練 ②福祉機器管理 10. 食事 ①安心安全な食事づくり ②見守り配食開始	1. 運営・管理 ①事務局集約による効率的業務 ②規程遵守 ③記録(マニュアルⅡ)実施 ④応援隊登録開始 2. 在宅介護支援センター ①早期発見による支援 ②シンポジウム実施 ③地域防災訓練参加 ④あさひ苑との連携 3. 地域デイ ①担当者固定 ②在支との連動 ③養護との協働 4. 養護 ①主体的な生活支援 ②個別対応 ③特養申請の援助 5. ホーム(特養) ①稼働率94.8% ②重度高齢者の変化把握 ③居場所づくり ④看取りによる生活の場の意義共有 6. 自立ショート ①緊急対応 ②利用者情報確認徹底 7. 看護 ①看取り3人実施 ②感染症拡大防止 8. 訓練 ①個別機能訓練計画作成 ②自具具管理 9. 食事 ①毎週金曜日選択食 ②衛生保持	1. 運営・管理 ①事務局との連携 ②家族支援システム導入 ③勤怠システムと給与計算連動 ④岩本との連携強化 ⑤医療機関との連携強化 2. 地域包括支援センター ①速やかな相談対応 ②虐待ゼロワーキングチームに参加 ③ながいき教室、おたより発行 ④介護予防プラン93件 3. 居宅介護支援センター ①困難ケース緊急対応受け入れ ②ケアマネ2人体制 ③医療との連携 4. デイ ①稼働率74.7% ②専門知識の習得 ③季節行事実施 5. ホーム ①稼働率93.1% ②職員確保 ③専門性向上のための研修 6. ショート ①個別援助計画書式見直し ②空間整備 ③稼働率112% 7. 看護 ①嘱託医との連携 ②感染予防対策実施 ③研修開催 8. 食事 ①井の日、ちらしの日 ②利用者ニーズ把握 ③ソフト食試食会 ④安全な食の提供 9. 高齢者住宅 ①個別対応強化 ②閉じこもり防止	1. 運営・管理 ①事務局との連携 ②家族支援システム導入 ③派遣職員での職員補充 ④地域の理解獲得 2. 区民施設 ①地域との交流促進 ②駐車台数8台/30台 3. デイ ①稼働率66.4% ②稼働率減 ③介護予防教室開催 4. 健康回復支援ショート ①関係各部署の連携 5. ケアハウス ①稼働率97.2% ②募集方法統一 6. グループホーム ①稼働率93.8% ②環境づくり ③認知症通所介護との合同活動 7. ショート ①稼働率93.9% ②水分補給 ③食堂レイアウト変更 ④感染症予防 8. 看護 ①利用者情報共有 9. 食事 ①井の日、ちらしの日 ②利用者ニーズ把握 ③利用者摂食状況確認	1. 運営管理 ①業務改善 ②地域防災訓練に参加 ③安全確保のため警察と連携 ④居室サッシ取り付け 2. 母親に対する支援 ①自立支援計画票作成 ②就労支援 ③心のケア 3. 学童支援 ①日常の学習指導 ②集団遊びによる信頼感 ③個別カウンセリング ④外遊びによる季節感 ⑤けじめのある生活支援 4. 乳幼児に対する支援 ①乳幼児への保育充実 ②日祭日、病児補充保育充実 ③地域保育所との情報共有 ④基本的な生活習慣習得支援 5. 地域活動 ①各地域活動に参加 ②緊急一時保護28世帯 DV被害者入所71.4% 6. 食事 ①季節の食材 ②衛生管理徹底 ③簡単な料理紹介	1. 運営管理 ①安心安全な館 ②職員の心のケア ③コスト管理 ④マニュアル改善 2. 子ども家庭支援センター ①新規相談82件・虐待1件 ②オープンルーム24回・2043人参加 ③NPプログラム3回・27組母子参加 ④ミニルーム、テーマ別で実施 3. 病後児保育 ①登録52人・のべ12人利用 ②利用基準検討見直し ③事業について市と協議中 4. 母親に対する支援 ①自立に向けて支援 ②心のケア ③就労支援 ④若年層母親の子育て支援 5. 学童に対する支援 ①仲間意識の育成 ②学校、関係機関との連携 ③豊かな感情の醸成 ④自主性育成 6. 保育に対する支援 ①月例に合った保育計画 ②安全な寮内保育 ③寮内保育児と通園児の交流 7. 食事 ①旬の食材献立・味覚の形成 ②衛生管理 ③代替食対応 8. サービス事業 ①トワライト2535人△1920人減少 ②ショート115人 ③緊急一時保護93人大幅減少	1. 運営管理 ①府中市中核施設として定着 ②防災訓練毎月実施 ③防災、防犯対策 警備員配置 ④個人情報保護対策 ④ボランティア170名 2. 総合相談事業 ①新規相談764件・虐待3割 ②ひろば登録で予防的関わり ③子育て交流会6回 ④子育て講座4回 3. ひろば事業 ①登録34000人・市外6割 ②安全確保に努める ③利用児は3歳以下9割 ④季節行事実施 4. リフレッシュ保育 ①新規登録367人、登録延べ1607人 ②利用延べ1533人 ③ケースの共有 ④更新手続き書類見直し 5. ファミリーサポート ①新規登録286人・会員1219人 ②活動6628件 ③学校送迎 1971件 ④事業説明会充実 ⑤会員の交流の場づくり ⑥定例会11回・交流会2回 ⑦広報活動
平成21年度 事業計画 重点ポイント	1 社会福祉法人としての組織体制の整備 ①経営体制(理事長を中心とした理事会機能、常任委員会) ②事務局と施設の役割分担と連携・協働 2 社会福祉法人を担う職員の育成 3 法人理念と日常業務、制度を踏まえた家族支援システムの定着 4 福祉の立場から、「生きる、老い、死」について考える年とする	1 基本方針の理解と利用者本位の再認識 2 重介護者の過ごし方の取組 3 介護医療の連携強化 4 特養の医療のあり方や死生観等を議論 5 府中5地区の地域性、在宅高齢者の事業展開 6 人材確保と定着資格取得の促進 7 新調理システム導入 厨房整備計画の実施 8 安全対策等リスク管理 9 地域包括支援センター受託準備 10 建物の計画的修繕	1 組織づくり 2 人材育成 3 サービス向上 4 リスク管理 5 地域包括支援センター受託	1 主体的な生活、自主性を引き出す養護老人のあり方を追求する 2 小規模特養のゆとりある暮らしの実現 3 職員確保、育成、定着 4 施設リスク対応強化 5 在宅支援センター機能発揮 6 地域ボランティアの育成と相互協力	1 岩本及び各事業との連携 2 職員確保 3 職員育成と定着 4 地域との連携 5 各事業のアセスメント	1 地域包括支援センター かんだ連雀との連携 2 人材確保 3 人材育成と定着 4 新規事業の円滑な運営 5 防災訓練の充実 6 在宅利用者の医療ニーズの検討	1 安心・安全の提供 2 利用者によりそった支援 3 資源を大切に 4 基本的な生活の向上 5 入所率アップの検討 6 民間移譲に向けた取り組み 7 自立支援計画活用 8 職員育成	1 安心安全の場の提供 2 職員の連携 3 制度の理解 4 夜間職員体制の充実 5 在宅サービス事業の検討 6 あるべき施設の検討 7 個別支援計画による自立支援 8 ノー残業デイ実施 9 計画的な建物保守管理	1 安心安全の場の提供 2 子育て関連情報の把握・発信 3 しらとりとの連携 4 チームワーク向上 5 具体的な支援案検討